

タウト塾@熱海 2022

熱海東山 -

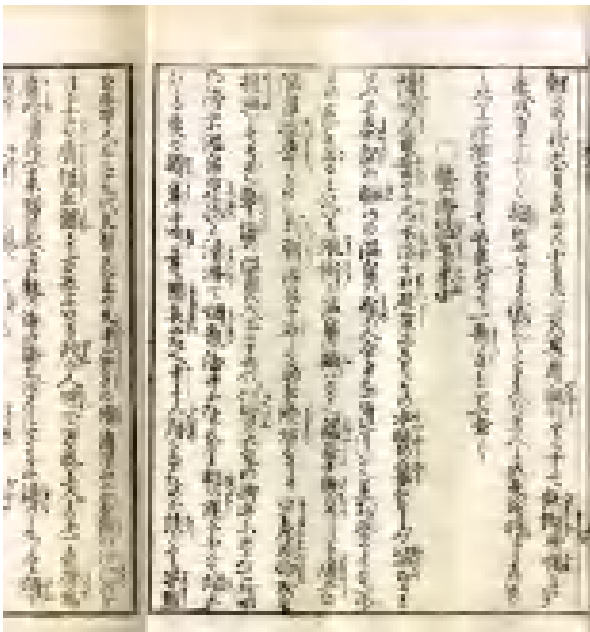
令和4年度
01



熱海温泉
誕生
湯治・江戸
明治・大正
昭和～
東山

熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022 オンライン講座



熱海温泉由来由



熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022 オンライン講座



熱海温泉来由「万巻上人化現の逢図」



箱根の万巻上人は海中に沸く熱湯により、魚が死に甚大な被害を被っているとの漁民たちの訴えから、祈願し泉脈を海中から山里へ移しました。

熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



大湯間歇泉



湯前神社

「病を除く効果がある温泉がある」と神様からのお告げで祠を建て、神を祀ったのが始まりの神社。春と秋には例大祭が開催されています。

熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



熱海七湯

熱海村における大湯以外の温泉源は、清左衛門湯・平左衛門湯・風呂の湯・水の湯・野中の湯・佐次郎の湯・河原湯を、「熱海七湯」と呼ばれていました。



資源としての温泉利用をめぐることは、大湯の温泉宿営業者集団の「湯戸」の立場の本陣である今井家・渡辺家らの名主や村方三役をつとめました。



熱海ブルーノ・タウト連盟

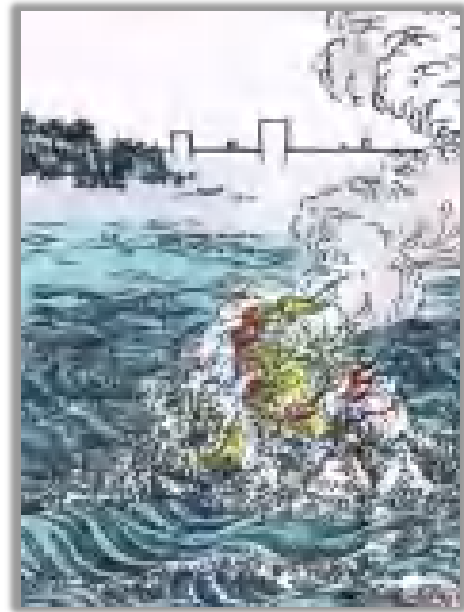
タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



あたま “熱海” 名の由来

「熱海」と書いて「あたま」と読むこの地名の由来は、海中より温泉が凄まじく沸きあがり、海水がことごとく熱湯となったため、「あつうみが崎」と呼ばれ、それが変じて「あたま」と称されるようになったと言われています。



熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

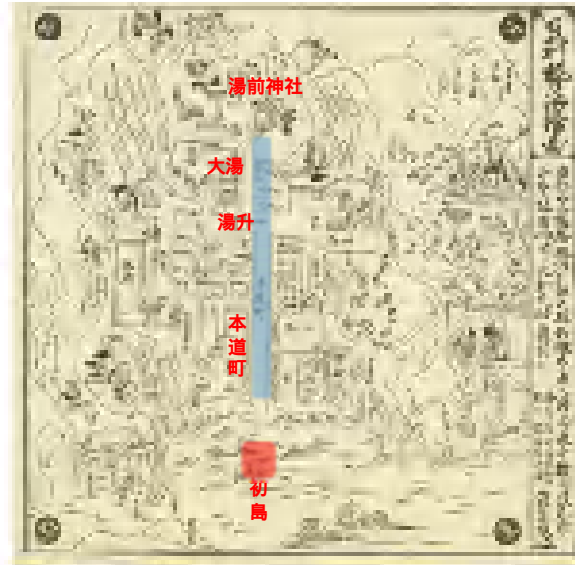
オンライン講座



湯治場の始まり

**湯前神社 - 大湯 - 湯升 - 本道町 - 海岸
初島**
を眺望し棟が建ち
湯治場がとなっていた。

熱海郷の「湯治場」は戦国時代から徐々に
はじまりました。
湯前神社を中心に湯宿が形成され、大湯は
まさにこの中心でした。江戸時代にみられ
たような熱海温泉町の景観の基本はこの戦
国時代にほぼ形成されていたと考えられて
います。



熱海温泉町の歴史地図
（熱海温泉町観光協会発行）

熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



御汲湯と湯汲道中



家康は熱海の温泉と効能を気に入り、病気がちだった吉川廣家に熱海の温泉五桶を送り届けさせた。以後三代將軍徳川家光、四代將軍家綱と長きに続く。その際には江戸から御汲湯奉行が派遣され、厳重な監督のもとで熱海の湯が汲み出された。御汲湯が行われたのは大湯で、『御用は「湯戸」の主人に限られ、7つの作法に従い厳格に行われていた。十代將軍家治も熱海の湯を所望、2年間に229樽の湯が江戸城まで運ばれている。

熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



江戸時代 温泉番付で行司役

温泉番付での熱海は行司役

江戸から明治にかけて、相撲の番付にならった「温泉番付」が江戸や京都、有名温泉地で作られた。相撲の「江戸番附」が初めて発行されたのは、1757（宝暦7）年10月場所であった。江戸時代、熱海は一貫して行司を務めた。見る人を納得、権威づけるには行司、勸進元、差添が認める名湯、別格温泉地でなければならない。徳川家康愛顧の温泉地で、将軍への御汲湯も行ってきた熱海湯はその条件を十分備えていた。



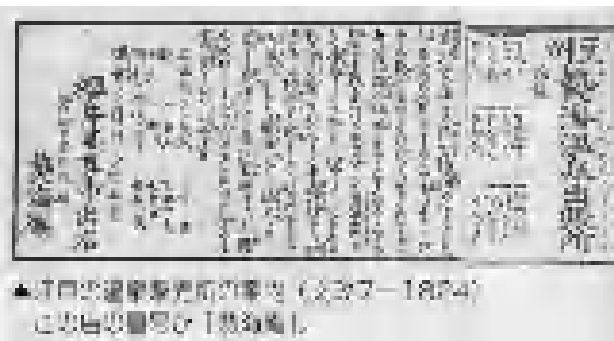
熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



大湯の御汲湯から熱海温泉の湯樽販売へ



▲江戸の温泉販売所の看板（文政3年1824）
この看板の裏面に「熱海湯」とある。

熱海温泉出張所の看板

“ 将軍 ” ブランドで
「 宅配 」 により庶民の温泉へ



江戸へ運ばれた湯樽が積み上げられた今井本陣の画。
湯樽の裏面に「熱海湯」とある。

図は江戸へ運ばれる湯樽が積み上げられた
今井本陣の画。

熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



明治・大正・昭和初期

明治期の熱海は、同地を海浜保養地に読み替えようとする西洋的な衛生田心想事成、また維新後の新政府関係者や内務省・宮内省などによる支援などを背景に、湯治場から保養地、観光温泉地へと再編されていった。

同時期、大湯利用に関する支配者的集団であった湯戸の特権性が解体され、大湯以外の利用者や、他の地からの新興業者による温泉旅館の営業開始されたことでした。

旅館や別荘の新築用地として、東京や横浜など他年の人々による土地所有も盛んでした。

しかし大湯の営業権（湯株）は近代にも存続し、温泉をめぐる近代熱海の社会は、湯戸・七湯利川者・新興旅館・別荘所有者らの利害関係が絡み合いながら進んでいった。

芽吹き

- ・内務省・宮内省主導
- ・保養地、観光温泉地へ

解体

- ・大湯の枯渇
- ・湯戸特権の解体

振興

- ・大湯以外の業者新興
- ・他都市からの参入

開発

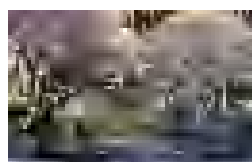
- ・大湯温泉地区の衰退
- ・駅前振興温泉開発の振興

温泉地区 駅前地区の発展

江戸時代
(湯治場) (家康)



明治・大正
(保養地) (政財界)



噺演館と熱海梅園/熱海御用邸・熱海駅

昭和観光地
(観光地) (新婚・社員旅行)



観光ホテル・丹那トンネル

熱海駅開業時に始まる駅周辺区の発展

温泉地区 銀座通り周辺の温泉地区
駅周辺区 熱海駅を中心とした地区



熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



12

日本初！ 温泉療養施設 唸汽館・きゅうきかん



岩倉具視

明治17年、熱海に温泉療養施設である「唸汽館」が岩倉具視の強い意見の下で完成。
ドイツなど西欧諸国を視察してきた日本初の温泉療養施設。温泉医学、療法が導入された画期的なもの。
翌明治18年には、治療の為の屋外運動施設として「熱海梅園」も加わり一体利用が図られた。

熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座





噓氣館の構成

噓氣館は入浴施設だけではなく、主に肺病患者への吸入療法による温泉療養施設として運営されていた。

間歇泉大湯の蒸気を利用した施設で、ドイツからの機器を導入し、室内の温泉蒸気、吸入器を使つての治療が行われてた。

大湯が沸騰するたび、その蒸気を館内の吸気室に導き、患者はその部屋にパイプをつけて蒸気を吸入した。

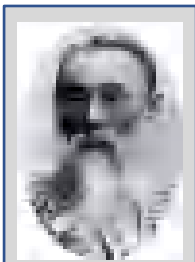
加えて、遊泳場やビリヤード場が併設されるなど、西洋の温泉医学、施設構成の導入がみられる。

熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022 オンライン講座



噓氣館の保養公園としてつくられた熱海梅園

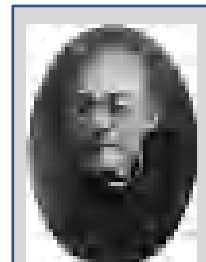


長与専齋

「温泉がよく病気に効くのは、ただその中に含まれている塩気や鉄精にばかり頼らず、適当な運動をするからである。もし、一日中室にいて、温泉に浸かっていたら飽きもし、疲れもして、養生にならない。……」

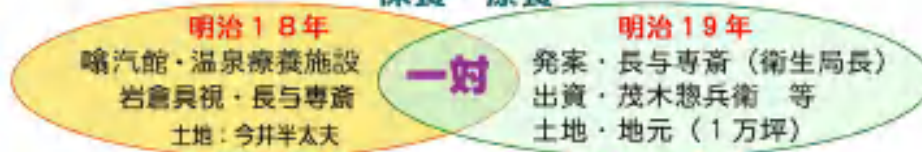
(「熱海風土記」より)

熱海梅園は、梅を愛でながら、初川の清流や、軽い傾斜路をゆっくりと歩き運動する為の保養公園



茂木惣兵衛

保養・療養



熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022 オンライン講座





海気浴室と散歩道



機会治療化学線浴室

東京第一衛戍病院熱海分院 (国際医療福祉大学病院)

温泉医療は、日露戦争後、傷病兵の療養施設として衛戍病院の分院として継続した。

外傷性の疾患については温泉浴と按摩法を、胸膜炎など内科患者については気候療法を中心に、温泉浴と運動法を用いて療養。患者らは構外への散歩が認められた。これらは、近代熱海の療養拠点として基となっている。

戦後、分院は国立東京第一病院熱海分院となり、国立熱海病院をへて国際医療福祉大学病院となっている。

熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



熱海の交通

熱海は江戸時代より、全国の温泉地でも別格「行事」として人気の温泉地でした。

また明治には、政治家を文学者など多くの著名人の人気の場所となり発展を遂げてきたのですが、「交通の不便さ」が常に付きまってきました。

熱海の発展の歴史は、交通との闘いといっても過言ではありません。その為、人車鉄道、軽便鉄道など多くの手段をとってきました。

そうした中でも、大正から昭和初期にかけての「熱海駅開業」と丹那トンネルの開通は特別でした。

この講座では、熱海の交通を軸に街の発展、東山文化を見て参ります。



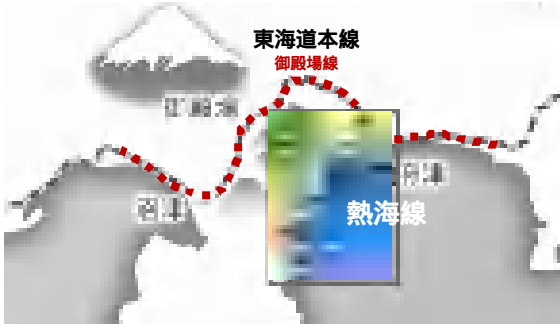
熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座

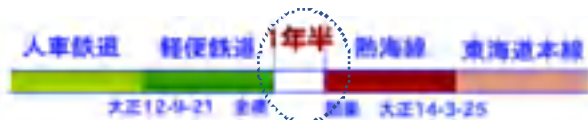


熱海駅開業 1925年（大正14年）3月



- 東海道本線は、国府津から御殿場線で沼津につながっていた
- 小田原・熱海では、豆相人車鉄道 軽便鉄道により終点熱海つながっていた。
- 大正12年9月の関東大震災により壊滅、全廃。
- 大正14年3月 国府津から熱海をつなぐ熱海線開通

熱海駅開業は、軽便鉄道の全廃からまでの1年半後に完成。開業は多くの人々に喜ばれた。



熱海ブルーノ・タウト連盟

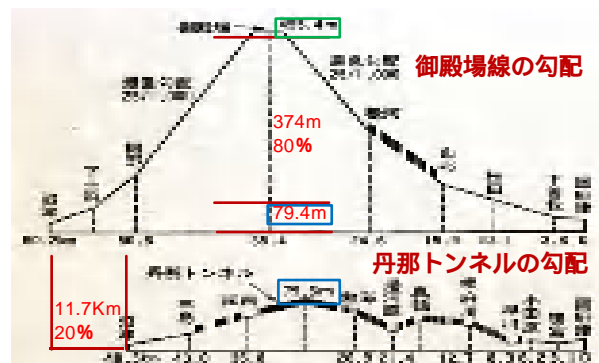
タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



18

丹那トンネル決定・工事



- 御殿場線を東海道本線としていたが、勾配がきつく輸送に大きな障害をもっていた。
- 熱海線は勾配は80%減となり距離も20%強減となった
- そうしたことから、熱海から函南間を開通して通す案が採用された
- 大正7年着工し昭和9年完工した
- 初工期は7年であったが、多量の湧水から16年となった
- 大事故は4回、日本の鉄道トンネル工事史上、最大の難工事であった。

難工事

工期：7年 16年
予算：700 2500万円
- 当時予算 -
犠牲者：67名
- 水、落盤犠牲者 -
延べ人数：250万人
長さ：7804m



熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



19

丹那トンネル開通 祝い 昭和9年12月



丹那トンネル殉職碑



熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座

CEIL

丹那トンネルによる2つの恩恵

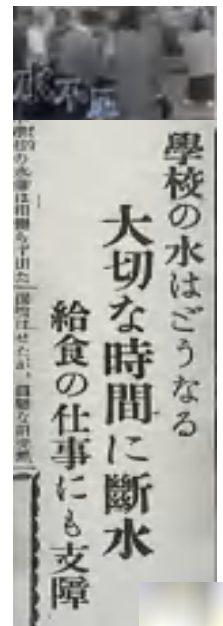
難工事をまねいた大量の丹那湧水

第一恩恵
多くの
観光客

急激な
水不足

第二恩恵
大量な
生活水

線名	乗客数	降客数	和暦
軽便鉄道 小田原～熱海	1.7万人	1.9万人	大正12年調べ
熱海線 東京～熱海	28.7万人	37.1万人	大正14年調べ
東海道本線 丹那トンネル開通	191万人	162万人	昭和10年調べ



熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座

CEIL

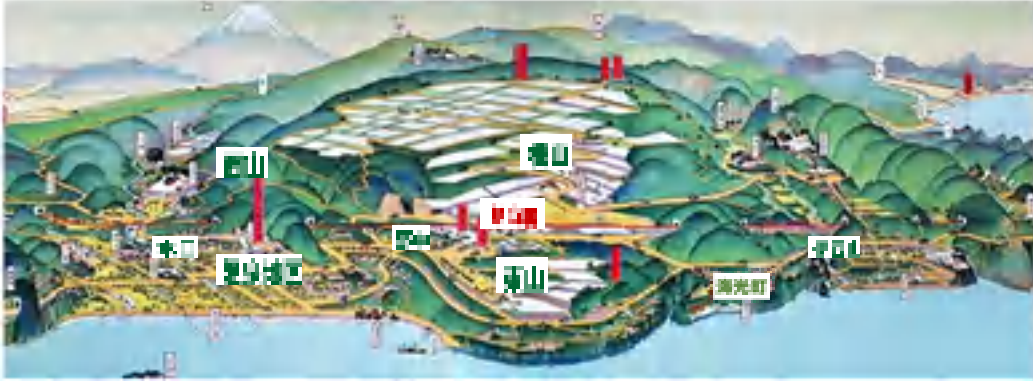
東山・桃山の土地分譲（温泉付き）開発

東山の地は以上のような交通の大きな転換期を背景に生まれてきました。

大正10年 東京に本拠をおく竹内同族会社が桃山・東山（潮見崎）の土地分譲を開始

これは開通7年後を予定していた丹那トンネル工事着工の3年後

開発と同時並行して、来宮神社の位置する西山、温泉地区の間の野中地区（現咲見町）、水口付近、伊豆山地区なども開発が盛んになる。



熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



22

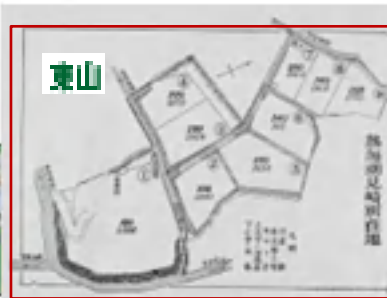
熱海 桃山潮見崎 文化別荘地分譲 案内

竹内同族会社による（大正14年）

「熱海潮見崎・桃山文化別荘地分譲」パンフレット。

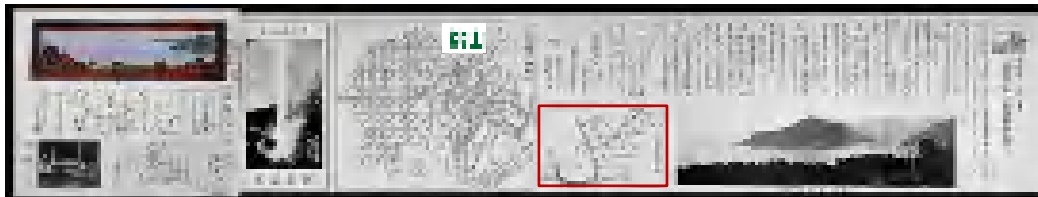
両面刷りで、坪内逍遙・双柿舎からの図書館への寄贈品。奇麗なかたちで残っている。

NHK 「プラタモリ」にも説明用で登場



佛蘭西のニースにも勝り
南国気分の豊なる

熱海 潮見崎 桃山 文化別荘地分譲



熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



23

熱海・東山地区



熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



24

東山トリオ（旧日向別邸・東山荘・海峯楼）

現在の東山全景

- 標高約90m
- 駅約20m高い場所。
- 135号線、駅前道路に囲まれた丘
- 頂きに3つの施設が隣接し合い「東山トリオ」を構成
- 他昭和の建物が複数存在し、昭和の浪漫をかもししています



熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



25

旧日向別邸 旧日向家熱海別邸

渡辺仁 による上屋
ブルーノ・タウトによる
屋上庭園の地下が地下室



竣工時の外観
(『住宅建築図集』株式会社清水建設1939年)



熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022 オンライン講座

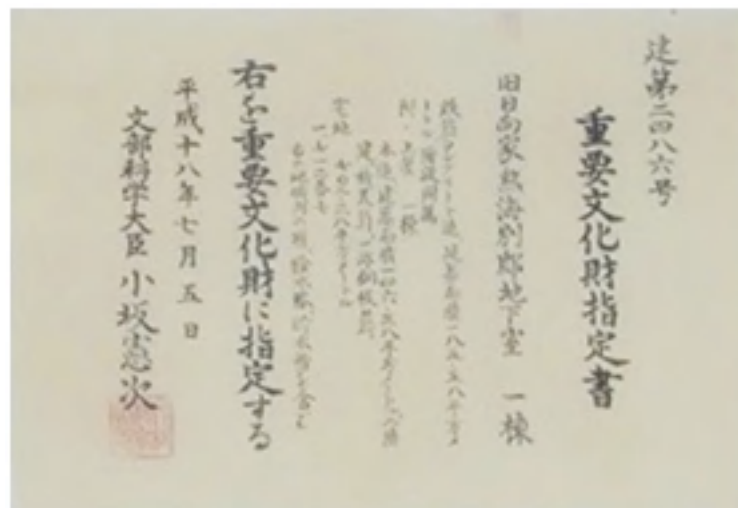


26

重要文化財指定書 旧日向家熱海別邸地下室 1棟



do.co.mo.mo_2003 (H15)



重要文化財指定書 第2486号 2006 (H18・7・5日)

熱海ブルーノ・タウト連盟

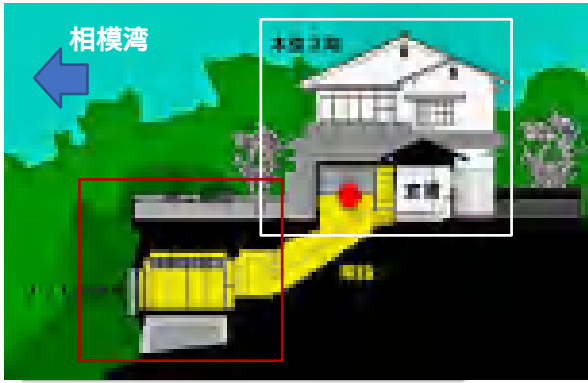
タウト塾@熱海 2022 オンライン講座



27

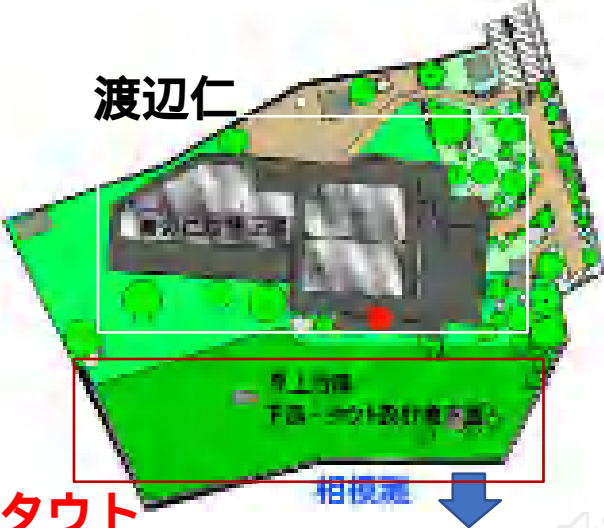
建物紹介

一期 上屋・渡辺仁設計
二期 土留め躯体・庭園・清水組
三期 地下室内装・ブルーノ・タウト設計




配置・断面

渡辺仁



タウト

熱海ブルーノ・タウト連盟
タウト塾@熱海 2022 オンライン講座


28

旧日向別邸 地下室

社交室：
洋間：
日本間：
ベランダ：



タウトの部屋ゾーン構成



アルコーブ



ベランダ



日本間



洋間



社交室

熱海ブルーノ・タウト連盟
タウト塾@熱海 2022 オンライン講座


29

旧日向別邸 竣工

- S10.4設計
- S10.7着工
(13か月)
- S11.8竣工
- S11.9撮影
(1か月)
- S11.10離日



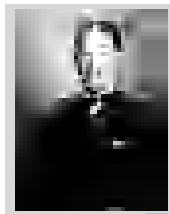
とうざんそう 東山荘

東山荘 配置図

— 全7棟 国の登録有形文化財 —
平成28年(2016年)



東山荘は、昭和8年、第一銀行頭取であった石井健吾氏の別邸として建築されました。その後、所有者が山下汽船(現・商船三井)の創業者山下龜三郎氏に移り、昭和19年に世界救世教・岡田茂吉氏が譲り受け熱海市・旧東山(現春日町)の地名を取って「東山荘」と命名されました。平成28年(2016年)に、昭和初期から今日までの歴史を孕んだ近代和風の別荘建築として貴重であると評価され、国の登録有形文化財(建造物)に指定されました。



石井健吾氏
第一銀行頭取



山下龜三郎氏
商船三井創業者



岡田茂吉氏
世界救世教

- 第一期 昭和8年 第一銀行3代頭取・石井健吾
- 第二期 昭和14年 山下汽船初代社長・山下龜三郎
- 第三期 昭和19年 世界救世教教祖・岡田茂吉
- 1 正門 2 離れ 3 本館 4 物置
- 5 別館 6 茶室
- 7 庫



とうざんそう

東山荘



相模湾を望む敷地北東寄りに本館が位置している。

昭和8年東山荘の完成のころ、日向利兵衛は、隣接する土地を尾崎男爵より譲り受け、渡辺仁に設計を依頼している。

戦前期における熱海の別荘開発と代表的な別荘建築が集中する貴重な歴史的地区の開発の始まりの時代でした。

設計施工・清水組 敷地面積 1000坪



熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



32

とうざんそう

東山荘 瑞雲郷

本館東から山側を望んだ写真です。岡田茂吉氏は毎日この雄姿を眺めては、瑞雲郷の構想を練ったといいます。現在MOA美術館、救世教会館、水晶殿他、多くの関連施設が建っています。



熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



33

杵屋六左衛門旧邸

竣工：昭和8年（1925）

明治33(1900)～昭和56(1981)

東京都中央区生まれ。

明治～昭和期の長唄三味線方・唄方 杵屋宗家

14代目 東京音楽学校教授。

49年人間国宝。杵屋は三味線家系であったが

長唄に転向。

出典：日外アソシエーツ「20世紀日本人名事」



熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



34

【玄関】この建物は、長唄の宗家である杵屋の十四代目六左衛門への贈物。竹で作られている珍しい踏込みが見える。田舎家風の演出である。

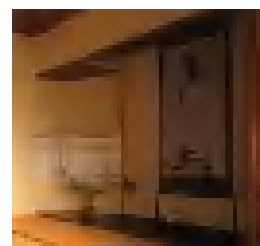
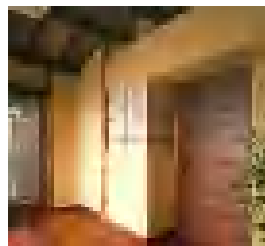
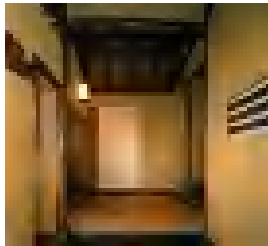
【応接間】右手にある玄関からの戸は、土間の床面と同じで土足で入る。以前は絨毯敷きでテーブルと椅子が置かれていた。天井に丸太が架けられ玄関同様に民家風の造りである。

【居間】西洋的なあるいは現代的な美意識が日本建築になっている。吉田五十八の代表作であり、熱海の至宝とも言える建築である。

『鏡舌抄』吉田五十八（新建築社）、『建築家 吉田五十八』砂川幸雄（晶文社）、『歴史遺産 日本の洋館 昭和篇』より



図20 杵屋旧邸様 平森園（当地）
徳山建築事務所（現地）設計監理。1927年、37坪の半蔵邸を6.2に増築。



熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



35

ATAMI海峯楼

海峯楼は、熱海市春日町8-33、旧日向別邸に隣接した地に1995年（平成7年）03月に、ゲームメーカーのゲストハウスとして建設された。現在は、旅館として「ATAMI海峯楼」の名で営業される。

私のこの「水ノガラス」という作品の敷地は、そんなタウトの設計した「日向別邸」の隣でした。タウトの作品が熱海にあることも知らなくて、この建物の設計を依頼されて隣に建っていることを知ったときにはたいへん驚いた。

ここでも僕は、せっかくタウトの隣なんだから縁側をやるうと思ったんですね。それも水の縁側をつくらうと考えた。

（東西アスファルト事業協同組合講演会 物質性とサイバースペースより）



ATAMI海峯楼 2

なぜ水かといえば、ひとつの理由は、普通の縁側ですと、手すりなどの雑なものが出てきますが、水の縁側だったらすっきりするのではないかと思ったのです。そして、向こうの海とこの建物の水の縁側が一体化してくると、中にいる人間は自分が海の中に浮いているような自然との一体感を味わえるのではないかと考えました。

（東西アスファルト事業協同組合講演会 物質性とサイバースペースより）



キュレーションホテル

キュレーションホテルとは、日本が誇る美の伝統を革新的デザインで未来につなぐ「場」として、選び抜かれた伝統建築素材・伝統工芸・アートが息づく空間での滞在を提供するホテルです。



熱海東山エリアに
キュレーションホテル 須藤水園・桃乃八庵・桃山雅苑 開業

* 左説明文・写真はHOTELIER (ホテリエ) より掲載

熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



38

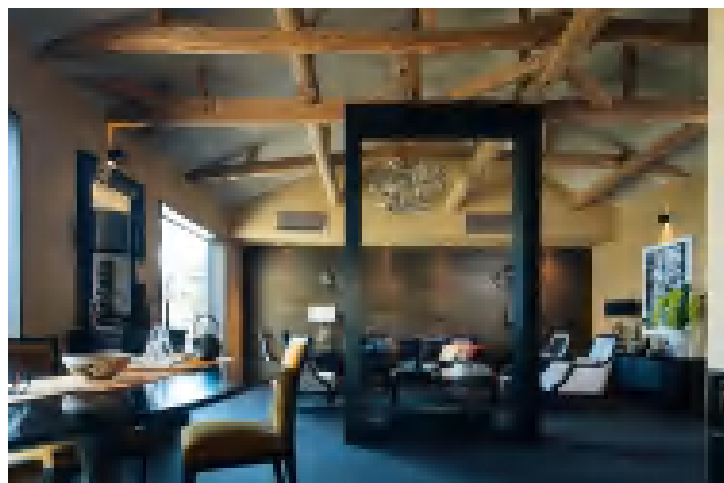
キュレーションホテル

桃乃八庵(とうのやあん)

熱海-東山

築88年の元旅館別館で、5年間放置され朽ちて解体寸前だった古民家を、耐震ならびに住宅性能改修含めフルリノベーション。

建築当時の豊富で貴重な伝統意匠を残し、伝統の素材と大工の技術で大胆な改装の上に、オーナー/デザイナーの目利きで集められた伝統工芸品や現代アートが加わることで、時代の新旧・洋の東西が融合された、伝統と革新が競演するデザインが完成しました。



* 説明文・写真はHOTELIER (ホテリエ) より掲載

熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



39

キュレーションホテル

須藤水園(すとうすいえん) 熱海-東山

築87年の豪華な伝統建築を改修し、耐震ならびに住宅性能を高め、オリジナルの意匠を生かしつつ、金と青をキーカラーに、琳派を思わせる華やかなデザインに仕上げています。

例えば100枚以上の障子戸は、伝統の洗いを施し、85㎡のLDKの緩い結界として再生させました。私設美術館も所有する美術篤志家のオーナー族が、何代にもわたりこの家のために集めた美術品が新しい空間デザインの中で煌めくさまは圧巻です。



* 説明文・写真はHOTELIER（ホテリア）より掲載

熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



40

東山・古民家再生 1

熱海-東山

昭和初期に建設された。『「綿の王」と呼ばれている明治・大正期の実業家・谷口房蔵の息子である、谷口豊三郎が所有している別荘とのこと。トヨタ保養所として使われたのが土地も近くであり、同氏がトヨタの前身である豊田式織機株式会社の社長をしていたことに由来があるようです。』（マチモリ不動産HPより）



熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022

オンライン講座



41

東山・古民家再生 2



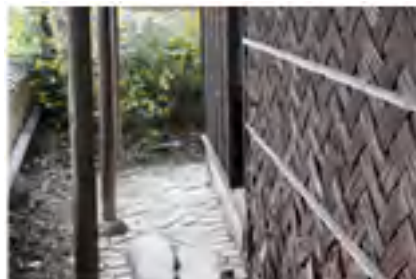
熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022 オンライン講座



42

東山・古民家再生 3



熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022 オンライン講座



43

東山 この永遠なるもの・・・

旧日向別邸の令和4年4月の再公開は、熱海伊豆山の土石流の災害のために延期となり未だ公開されていませんが、近々には再公開となります。大いに期待したいところです。

今回は東山の魅力についてその概要をみてきましたが、

次回は東山周辺の地区である、西山、桃山、水口、海光町などの地域の魅力を廻りご紹介いたしますのでご視聴下さい。

ご清聴ありがとうございました。



雙柿舎（水口）



中山新平T（西山）



惜櫓荘（海光町）



凌寒荘（西山）

熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022 オンライン講座



44

タウト塾@熱海
2022

熱海東山～1

令和4年度

01



- 熱海温泉
- 誕生
- 湯治・江戸
- 明治・大正
- 昭和～
- 東山

